

2024年度10月入学  
2025年度 4月入学

# 横浜国立大学大学院理工学府

## 博士課程前期 学生募集要項

### 【出願手続について】

出願手続きは、インターネットから出願申請を行った上で、必要書類を提出してください。

#### I. 出願申請に必要な環境

出願申請を行うためには、インターネットを利用できるパソコン、プリンター及び電子メールアドレスが必要です。

#### II. 出願手続の流れ

##### (1) メールアドレス等の登録

1. 本学の Web 出願システムにアクセスしてください。
2. 画面の指示に従って、志望する専攻等を指定してください。
3. 氏名やメールアドレス等を登録し、申込を行ってください。
4. メールアドレス等の登録が済みましたら、登録完了メールが届きます。

##### (2) 出願申請

1. Web 出願システムにログインし、必要な事項を入力し登録してください。
2. 出願申請後、Web 出願システムから入学検定料の支払い方法を選択してください。
3. 選択した方法に基づき、入学検定料を支払ってください。
4. 入学検定料の支払完了通知メールを受信した後、Web 出願システムから出願に必要な書類を印刷してください。

##### (3) 出願書類提出

1. 印刷した書類及び証明書類等を所定の出願期間内に提出してください。
2. 必要な書類がすべて本学府に到着した時点をもって、出願手続が完了となります。

※Web 出願システムに出願申請を行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

※出願手続の詳細は、本要項及び Web 出願システムにて確認してください。

## はじめに

本要項には、2024年10月または2025年4月に横浜国立大学大学院 理工学府博士課程前期へ入学を希望する人に必要な情報が書かれています。内容は多岐にわたっていますので、入学を希望する人は本冊子をよく読んで自分に必要とされる情報を正確に取得し、間違いのないように出願手続きを行ってください。

出願に際しては、あらかじめ希望指導教員あるいは表1（5頁参照）の問い合わせ担当教員とよく相談した上で願書を提出してください。

理工学府の概要や教員の研究内容などは、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>

### 【安全保障輸出管理について】

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。なお、国籍を問わず入学者全員は、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名していただきます。詳細については研究推進機構ウェブサイトを参照してください。

<https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/>

### 【個人情報の取り扱いについて】

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

- ①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付、生協資料の送付）及び入学手続業務
- ②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料
- ③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）
- ④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）

⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。  
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

(2) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

### 【学生寮について】

学生寮への入居希望者は、合格発表より前に申請手続きが必要となる場合があるため、各自において学務・国際戦略部学生支援課ウェブサイトの学生寮のページの入居募集案内を確認し、期間内に手続きを行ってください。

<https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/>

### 【緊急時の入試実施に関するお知らせ】

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害、疫病等の影響により、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。最新情報は、理工学府ウェブサイトを定期的に確認してください。

## 目 次

I 一般学生（一般選抜及び特別選抜）募集要項	・・・ 6頁
II 社会人特別選抜学生募集要項	・・・ 21頁
III 博士課程前期の概要	・・・ 29頁
IV 指導教員一覧	・・・ 34頁
V 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による 教育の実施について（社会人技術者又は研究者に対する大学院教育の特例）	・・・ 42頁
VI 長期履修学生について	・・・ 43頁
VII ChatGPT をはじめとする生成 AI の利用について	・・・ 45頁
VIII アクセス案内	・・・ 45頁

用語に関する注意点：本要項では「博士課程の前期二年の課程」は「博士課程前期」、  
「博士課程の後期三年の課程」は「博士課程後期」として表記しています。

# 入 試 日 程

願書提出【WEB出願】2024年5月24日(金)～6月4日(火)

【郵送受付】2024年5月31日(金)～6月6日(木)

※特別選抜の有資格者とならなかった者及び合格者とならなかった者は一般選抜受験可能

特別選抜希望者

一般選抜希望者

特別選抜受験資格通知日  
2024年6月24日(月)

特別選抜有資格者とならなかった者

特別選抜試験日  
2024年7月9日(火)・10日(水)

特別選抜結果通知日  
2024年7月29日(月)

特別選抜合格者とならなかった者

一般選抜試験日  
2024年8月21日(水)・22日(木)

最終合格発表日  
2024年9月5日(木)

入学手続【2024年10月入学】2024年9月6日(金)～9月12日(木)  
【2025年4月入学】2025年3月5日(水)～3月10日(月)

表1 問い合わせ担当教員

専攻	ユニット (教育分野)	担当教員名
機械・材料・海洋系工学	機械工学 (機械工学、航空宇宙工学、集積プロセス工学)	淵脇 大海 准教授 fuchiwaki-ohmi-xk@ynu.ac.jp
	材料科学フロンティア (材料工学、航空宇宙工学、集積プロセス工学)	大野 直子 准教授 oono-naoko-yh@ynu.ac.jp
	海洋空間システムデザイン (海洋空間、航空宇宙工学)	平川 嘉昭 准教授 hirakawa-yoshiaki-jd@ynu.ac.jp
化学・生命系理工学	先端化学 (化学、応用化学、エネルギー化学)	生方 俊 准教授 ubukata-takashi-wy@ynu.ac.jp
	化学応用・バイオ (化学応用・バイオ、エネルギー化学)	松澤 幸一 准教授 matsuzawa-koichi-zs@ynu.ac.jp
数物・電子情報系理工学	数理科学 (数学)	梶原 健 教授 kajiwara-takeshi-rj@ynu.ac.jp
	物理工学 (物理工学)	中村 正吾 准教授 nakamura-shogo-zg@ynu.ac.jp
	電子情報システム (応用物理、情報システム、電気電子ネットワーク、集積エレクトロニクス)	大矢 剛嗣 准教授 oya-takahide-vx@ynu.ac.jp

※ ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します。

※ 願書提出前に希望指導教員あるいは問い合わせ担当教員と相談すること。

## I 一般学生（一般選抜及び特別選抜）募集要項

### 1. 募集人員

【2024年10月入学】（日本人学生および私費外国人留学生）

専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員
化学・生命系理工学	先端化学	化学	PSD	若干名
		応用化学	TED	
		エネルギー化学		
	化学応用・バイオ	化学応用・バイオ	TED 又は PED	
エネルギー化学		TED		

【2025年4月入学】

専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員
機械・材料・海洋系工学	機械工学	機械工学	TED 又は PED	109
		航空宇宙工学		
		集積プロセス工学		
	材料科学 フロンティア	材料工学	TED 又は PED	
		航空宇宙工学		
		集積プロセス工学		
海洋空間 システムデザイン	海洋空間	TED 又は PED		
	航空宇宙工学			
化学・生命系理工学	先端化学	化学	PSD	107
		応用化学	TED	
		エネルギー化学		
	化学応用・バイオ	化学応用・バイオ	TED 又は PED	
エネルギー化学		TED		
数物・電子情報系理工学	数理科学	数学	理学	146
	物理工学	物理工学	PSD	
	電子情報システム	情報システム	TED 又は PED	
		電気電子ネットワーク		
集積エレクトロニクス				

※ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び本大学院入学の前までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び本大学院入学の前までに授与される見込みの者<sup>[注2]</sup>
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (5) の2 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 2024年10月入学希望者は2024年3月31日において、2025年4月入学希望者は2025年3月31日において学校教育法第83条に定める大学に3年以上（休学期間を除く）在学した者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者<sup>[注3,5]</sup>
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学府において、本学府の教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの<sup>[注5]</sup>
- (10) 個別の審査により、大学を卒業したと同等以上の学力があると本学府が認めた者で、本大学院入学の前までに22歳に達するもの<sup>[注4,5]</sup>

[注1] 上記以外の出願資格は認定しません。

[注2] 出願資格（2）における本大学院入学の前までに学士の学位を取得見込みの者とは主に、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定した短期大学および高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、2024年10月入学希望者は2024年4月までに、2025年4月入学希望者は2024年10月までに大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請した者です。

[注3] 出願資格（8）に該当する者（いわゆる「飛び入学」者）の要件は以下のとおりです。



①2024年3月末の時点で、当該志願者の所属学科（あるいはこれに準ずる成績判定単位）における成績順位が上位5%以内かあるいは総修得単位の3/4以上が評価点80点以上の評価であることが必要です。

②原則として、2年次修了までに必要な全ての必修科目に合格し、かつ、90単位以上を修得していることが必要です。

[注4] 出願資格の(10)に該当するものとは、上記(1)～(9)に該当しない者で、本学府の個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者で、本大学院入学の前までに22歳に達する者です。

※主に該当する者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者、又は大学卒業までに16年を要しない国の大学を卒業した外国人留学生であって、大学教育修了後、日本国内又は外国の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として1年以上研究に従事した者及び本大学院入学の前までに1年以上研究に従事する見込みの者です。

[注5] 出願資格(5)の2、(8)～(10)により出願しようとする者については、出願資格認定審査を行います。あらかじめ志望先の教員と相談のうえ、次の書類を任意の封筒に封入し、**2024年5月13日(月)～5月15日(水)**の間に理工学系事務部教務課理工学府係まで提出してください。出願書類は郵送または窓口で受け付けますが、いずれも期間内必着とします。(窓口受付は午前9時から午後17時まで。ただし12時45分から13時45分を除く。)

なお、出願資格認定申請に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトよりダウンロードしてください。

#### 【出願資格(8)によって出願を希望する者が提出する書類】

- ①出願書類送付内訳書(別紙1)
- ②出願資格認定申請書(書式9)
- ③出願資格証明及び推薦書(書式14) ※推薦者が厳封すること
- ④在籍大学の成績証明書
- ⑤履修基準を示す書類(卒業までに履修すべき区分別単位数及び総単位数、区分ごとに開講されている科目一覧等)
- ⑥354円の切手(速達料を含む)を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒(長形3号)

#### 【出願資格(5)の2、(9)、(10)によって出願を希望とする者が提出する書類】

- ①出願書類送付内訳書(別紙1)
- ②出願資格認定申請書(書式12)
- ③出願資格認定用経歴調書(書式13)
- ④最終学歴の卒業(見込み)証明書又は在学期間(見込み)証明書
- ⑤最終学歴の成績証明書
- ⑥研究業績調書(書式16)
- ⑦研究(希望)計画書(書式17)
- ⑧354円の切手(速達料を含む)を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒(長形3号)

出願資格認定審査は、横浜国立大学大学院理工学府において行い、審査の結果は、**2024年5月27日(月)**に郵送します。出願資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。その他、出願資格について不明な点は、理工学系事務部教務課理工学府係に問い合わせてください。

### 3. 出願手続

出願する者は、Web出願システムで出願申請を行った後、出願書類（4を参照）を角形2号（24cm×33.2cm）以上の封筒に封入して、封筒表面にWeb出願システムから印刷した宛名ラベル（書式30）を貼付の上、郵便局の窓口から書留郵便で送付してください。

#### 3-1. Web出願システムによる出願申請

**2024年5月24日（金）～6月4日（火）**の間にWeb出願システムで出願申請を行ってください。

Web出願システム URL : <https://e-apply.jp/e/ynu/>

##### 注意事項

- ① Web出願システムの入力において、60分間通信がない場合は、エラーとなりますので、ご注意ください。
- ② Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ③ Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。  
「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社キャリアタス）  
TEL : 0120-202079（受付時間：月～金 10:00～18:00）  
E-Mail : cvs-web@career-tasu.co.jp

※Web出願システムによる出願申請を行っただけでは出願手続は完了しません。下記3-2～4を参照のうえ、出願書類を郵送してください。

#### 3-2. 郵送による出願

**出願書類を2024年5月31日（金）～6月6日（木）**の間に届くよう書留郵便で送付してください。出願書類の受付は書留郵便のみで、期間内必着とします。窓口および電子メールでの受付は行いません。

受付期間後に到着したものは受理しないので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類のうち、**2024年6月5日（水）**までの**発信局消印のある書留速達郵便**に限り受理します。

[注1] 土曜日、日曜日・祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

[注2] 海外在住の志願者は、日本国内に在住する代理人が出願書類を郵送してください。やむを得ず、日本国外から出願書類を送付する場合は、2024年6月6日（木）までに到着するように、EMS（国際スピード郵便）等、配達を記録できる方法で郵送してください。【期限内必着】ただし、この場合も返信先住所は日本国内のみとします。

[注3] 海外在住の志願者で、受入を内諾している指導教員を通じて出願を行う場合のみ、窓口受付を認めます。

#### 3-3. 出願書類提出先

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5  
横浜国立大学 理工学系事務部教務課理工学府係

#### 4. 出願書類等

出願に必要な本学所定の様式は、Web出願システム及び理工学府ウェブサイトよりダウンロードして作成してください。様式の印刷は、全て「A4サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類送付内訳書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用してください。出願書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて、封入してください。	別紙2 ※理
入学願書	Web出願システムにて必要事項(志願者の氏名、連絡先、学歴、志望先(専攻、ユニット、教育分野、プログラム、指導教員)等)を入力後、印刷して作成してください。 縦4cm×横3cm無帽、上半身正面、背景無地、3ヶ月以内に撮影した写真(1枚)を入学願書に貼り付けてください。 〔注〕入学願書に貼付した写真と同一の写真を受験票(5を参照)に貼付してください。	1-1 ※出
卒業(見込)証明書	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したものを提出してください(出願資格(8)で出願する者は在学証明書を提出してください)。 ・卒業証書の写しをもって代える場合は必ず卒業証書を事前に窓口に提示して原本確認を受けてください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。〔ただし、出願資格(1)による出願者は除く。〕 ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	
成績証明書	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したものを提出してください。 日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	
在留資格に関する証明 (外国人留学生のみ)	現在日本に居住している外国人は、在留カードの写し(両面)を提出してください。その他の外国人は、パスポートの写しを提出してください。	
外国人留学生履歴書 (外国人留学生のみ)	Web出願システムにて必要事項を入力後、印刷して作成してください。〔ただし、出願資格(1)による出願者は除く。〕	19-1 ※出
受入内諾書 (外国人留学生のみ)	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。希望指導教員の署名を得たうえで提出してください。ただし、希望指導教員の署名は原本でなくてもかまいません。	19-2 ※理
これまでの研究内容および研究計画書 (先端化学ユニット)	(先端化学ユニット志願者のみ提出) 理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。	21 ※理

入学検定料	<p>【払込金額】30,000円  【払込期間】2024年6月4日(火)までにお支払いください。  【払込方法】  Web出願システムで出願申請した後に表示される支払手続画面に従い、支払手続を完了してください。支払方法の詳細は、Web出願システム「はじめに」の「お支払い方法」を参照してください。</p> <p>①日本国内在住の志願者  コンビニエンスストアから払い込むことができます(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、サークルKサンクスに限りません)。  ※店内にある情報端末機を利用して払込を行ってください。  (ATMでは振込できません。必ずレジで払い込んでください。)</p> <p>②海外在住の志願者  クレジットカード(VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFG・DC・UFJ・NICOS)及び中国銀聯網決済により払い込むことができます。</p> <p>[注1]入学検定料が払い込まれていない場合は、出願を受理しません。  [注2]各支払に係る手数料は、入学志願者本人の負担となります。  [注3]日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は、<b>入学検定料の支払いが不要です。出願の際、必ず国費外国人留学生証明書を同封してください。(コピー不可)</b></p> <p>※災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について  本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行う予定です。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。  (<a href="https://www.ynu.ac.jp/exam/">https://www.ynu.ac.jp/exam/</a>)</p>	
-------	--	--

※理：理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。

※出：Web出願システムにて必要事項を入力後、印刷して作成してください。

[注1] 特別選抜の受験を希望する者は、上記書類に加えて次の書類を提出してください。

特別選抜受験希望に係る出願書類	注意事項	書式番号
出願資格証明書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください(記載責任者が厳封すること)。成績順位の記述又は、総単位に占める評価点80点以上の評価の割合の証明。	15-1 ※理
推薦書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。 特別選抜を受験することに関する推薦書、記述は、受験者を良く知る者(指導教員等)であれば構いません。ただし、やむを得ず記述する者がいない場合は、自己推薦でもかまいません。	15-2 ※理

志望理由書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。 教育分野（指導教員）を選んだ理由、現在までの学業との関係及び入学後の研究計画をA4判用紙1ページにまとめたもの。作成にあたっては、各ユニット問い合わせ先教員あるいは、希望指導教員に問い合わせてください。	18 ※理
入学確約書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。	20 ※理
返信用封筒（1通）	Web出願システムにて必要事項を入力後、返信用封筒ラベル（書式31）を印刷し、角形2号（24 cm×33.2 cm）の封筒表面に貼付して作成してください。 「返信用封筒ラベル」には、速達郵便料金の切手（400円）を貼付してください。 発送先の住所は日本国内のみです。志願者が海外在住である場合は、日本国内の受取代理人を指定してください。	31 ※出

※理：理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。

※出：Web出願システムにて必要事項を入力後、印刷して作成してください。

[注2] 提出書類の免除

出願資格（8）～（10）による出願者は、資格認定時に提出した証明書等の再提出を免除します。

## 5. 受験票

**2024年6月19日（水）**までに、出願を正式に受理した旨を電子メールでお知らせします。受験票は、メールに記載されている注意事項に従い、Web出願システムにログインして印刷してください。印刷した受験票は、入学願書と同一の写真を貼付のうえ、試験当日に持参してください。受験票（表・裏）には何も記入してはいけません。

## 6. 選抜方法

選抜は「特別選抜」又は「一般選抜」のいずれかによって行います。手順については4頁の図を参照してください。

### （1）選抜試験方法の選択

学力検査のうち「特別選抜」と「一般選抜」のいずれか希望する方を選択してください。特別選抜を選択できる者は、出身大学等より推薦された者で次の①および②の要件を満たす者です。

①出願資格の（1）～（7）により出願した者

②出身大学の所属学科（これに相当するものを含む）における3年次終了時の成績順位が上位1/3以内の者。なお、やむを得ず成績順位を出していない大学等からの出願者は総修得単位に占める評価点80点以上の評価が1/2以上の者。（なお、高等専門学校専攻科に在籍する者については、本科修了時の成績により判断する。）

### （2）受験資格決定

出願時に提出した「特別選抜」と「一般選抜」の選択に基づき、出願書類によって受験資格を

決定します。特別選抜の有資格者とならなかった者は、一般選抜を受験することができます。特別選抜受験資格の結果は **2024年6月24日(月)** に郵送します。

### (3) 特別選抜

出願時に提出する書類の審査によって受験資格を決定したのち、口述試験（英語、基礎科目、専門科目等に関する口述試験、あるいは、卒業研究ないしは大学院入学後に取り組みたい研究についてのプレゼンテーションとその内容についての口述試験）、外国語（英語）、出願書類及び面接による特別選抜により、能力及び入学後の研究に対する資質を確認し、合格者を決定します。なお、外国語（英語）の試験は、TOEIC、TOEFL のスコアを用います。

口述試験の内容は、8（1）を参照してください。面接では、これまで取り組んできた研究内容や教育プログラムへの適性について口頭試問を行います。口述試験及び面接を1つでも欠席した場合および、有効な TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。特別選抜で合格者とならなかった者は、別途手続きすることなく一般選抜を受験することができます。

### (4) 一般選抜

学力検査（外国語（英語）、学科試験Ⅰ、学科試験Ⅱ）、出願書類及び面接によって行います。外国語（英語）の試験は、TOEIC、TOEFL スコアを用います。

学科試験の内容は、8（2）を参照してください。面接では、これまで取り組んできた研究内容や教育プログラムへの適性について口頭試問を行います。学科試験Ⅰ、学科試験Ⅱ及び面接を1つでも欠席した場合および、有効な TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。ただし、数理科学ユニットを志願する一般選抜受験者は、数理科学ユニットが実施する独自試験（英語）を受験することで TOEIC、TOEFL のスコア証明書の提出に代えることができます（特別選抜受験時に TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出した者を除く）（詳細は8（4）「数理科学ユニットの独自試験（英語）について」のとおり）。

出願資格（8）による出願者のうち2025年4月入学希望者は、3年次までの成績証明書を基に最終的な合否を決定します。なお、各ユニットが必要と認めた場合には面接を行うことがあります。その場合の面接日と場所は、別途、各ユニットから通知します。3年次までの成績証明書は **2025年2月18日(火)** までに理工学系事務部教務課理工学府係に提出してください。

## 7. 試験・面接日程

### (1) 特別選抜

期 日	科目名	配点	備考
—	外国語（英語）	100点	TOEIC、TOEFL のスコア証明書を 用います。
—	出願書類	400点	—
7月9日(火)	口述試験		試験日時・場所は受験資格結果 と共に郵送されます。
7月9日(火)～ 7月10日(水)	面接	—	

- ・ TOEIC、TOEFL のスコア証明書（詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり）を口述試験の試験時間中に回収します。
- ・ 口述試験および面接の実施日時と場所は、**2024年6月24日（月）**に郵送します。
- ・ 試験の結果は、**2024年7月29日（月）**に郵送します。

(2) 一般選抜

期 日	科目名	配点	備考
—	外国語（英語）	100点	TOEIC、TOEFL のスコア証明書を用います。
8月21日（水）	学科試験Ⅰ	200点 （化学応用・バイオユニットは配点300点）	10時30分～12時30分
	学科試験Ⅱ	200点 （化学応用・バイオユニットは配点100点）	13時30分～15時30分 （ただし先端化学ユニット、化学応用・バイオユニットを除く） 日時や場所は試験室割発表時に指示されます（下記参照）。
8月21日（水）～ 8月22日（木）	面接	—	試験日時や場所は試験室割発表時に指示されます（下記参照）。
8月22日（木）	外国語（英語）	100点	10時30分～11時30分 （数理科学ユニット志願者で独自試験（英語）受験者のみ）

- ・ 受験者は試験開始20分前に試験室に入室してください。
- ・ TOEIC、TOEFL のスコア証明書（詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり）を学科試験Ⅰの試験時間中に回収します。（数理科学ユニット志願者は8（4）「数理科学ユニットの独自試験（英語）について」を参照すること）
- ・ 特別選抜で合格者とならなかった者のうち、一般選抜を受験する者が特別選抜受験時に TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出している場合は、特別選抜受験時に提出したスコア証明書を一般選抜受験に用いることができます（この場合、一般選抜受験時にスコア証明書を再度提出する必要はありません）。なお、一般選抜受験時にスコア証明書を再度提出することもできます。
- ・ 学科試験に限り語学の辞書（電子辞書は不可）を使用することができます。
- ・ 学力検査科目および面接において解答に日本語または英語のみを使うことができます。
- ・ 学科試験Ⅰ、Ⅱおよび面接は、横浜国立大学構内（横浜市保土ヶ谷区常盤台）で行います。
- ・ 試験室割等は、**2024年8月2日（金）**までにWeb出願システムに掲載します。

## 8. 試験内容

(1) 特別選抜：口述試験

ユニット	口述試験
機械工学	卒業研究あるいは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いて10分間程度のプレゼンテーションを行い、その内容についての口述試験を行う。(※)

材料科学 フロンティア	卒業研究あるいは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いて10分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、その内容についての口述試験を行う。(※)
海洋空間システムデザイン	流体力学、材料力学、及び、剛体の力学に関する口頭試問を行う。
先端化学	卒業研究あるいは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いて7分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、その内容および化学に関連する基礎知識についての口述試験を行う。(※)
化学応用・バイオ	化学応用・バイオ、エネルギー化学分野に関する内容の説明・討論能力に関する口述試験を行う。また、これまで取り組んできた研究や取り組みの内容について口述試験を行う。
数理科学	基礎科目、専門科目等に関する口述試験、および、卒業研究ないしは大学院入学後に取り組みたい研究についての7分程度のプレゼンテーションとその内容についての口述試験を行う。(※)
物理工学	物理工学に関連する基礎科目、および、専門科目に関する口述試験を行う。
電子情報システム	電子情報システム分野の基礎科目、専門科目に関する口述試験、あるいは卒業研究ないしは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いてプレゼンテーションを行い、その内容について口述試験を行う。(※)

※口述試験でプレゼンテーションを課すユニットにおいては、試験当日に発表用資料ファイルを入れたUSBメモリーおよび、そのファイル内容をA4用紙に印刷したものを持参すること。なお、プロジェクターとパソコンは試験会場で準備をするが、持参のパソコンがある場合はそれを使用しても良い。

(2) 一般選抜：学科試験科目

ユニット	学科試験Ⅰ（配点200点） （化学応用・バイオユニットは配点300点）	学科試験Ⅱ（配点200点） （化学応用・バイオユニットは配点100点）
機械工学	①数学（50点） ②熱力学（50点） ③材料力学（50点） 計150点を200点に換算	①機械力学（50点） ②流体力学（50点） ③制御工学（50点） 計150点を200点に換算
材料科学 フロンティア	①解析学（微分、積分、微分方程式） ②線形代数学（行列とその応用、連立一次方程式） ③力学 ④物理化学（熱力学） ⑤統計物理学 合計5題（各40点）	①材料力学 ②固体電子論 ③結晶塑性学 ④金属組織学Ⅰ（結晶、状態図、及びそれらの関連分野） ⑤金属組織学Ⅱ（拡散、回復・再結晶、相変態、及びそれらの関連分野） 合計5題（各40点）
海洋空間 システム デザイン	①解析学（微分・積分、微分方程式）（50点） ②線形代数（50点） ③剛体の力学（50点） 計150点を200点に換算	①流体力学（50点） ②材料力学（50点） ③振動工学（50点） ④船舶海洋工学（浮体静力学、復原性）（50点） ⑤航空宇宙工学（飛行体・航行体の質点の力学）（50点） 合計5題中3題解答、計150点を200点に換算



先端化学	①数学(解析学、線形代数学、微分方程式) ②基礎無機化学 ③基礎分析化学 ④基礎物理化学 ⑤基礎有機化学 合計5題(各40点)	化学全般の基礎知識、これまでの研究内容ならびに希望する研究分野について入学後の研究計画に関わる専門知識について口述試験を行う。(様式21) (200点)
化学応用・バイオ	①数学(解析学、線形代数学、微分方程式の範囲) ②基礎化学Ⅰ(基礎無機化学、基礎分析化学の範囲) ③基礎化学Ⅱ(基礎物理化学、基礎有機化学の範囲) ④化学工学基礎(移動速度論、物質・エネルギー収支、相平衡の範囲) 合計4題(各75点)	これまでの研究内容や希望する研究分野に関する基礎知識・専門知識について口述試験を行う。 (100点)
数理科学	①線形代数学(50点) ②微分積分学(50点) ③集合(50点) ④位相(50点)	①代数(50点) ②幾何(50点) ③解析(50点) ④確率・統計(50点)
物理工学	数学(線形代数、解析学、微分方程式から出題する)(200点)	物理(力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学から出題する)(200点)
電子情報システム	①線形代数学(100点) ②微分積分学(100点)	①電磁気学(50点) ②回路理論(50点) ③論理回路(50点) ④アルゴリズム(50点)

(3) 一般選抜：学科試験受験にあたっての指示事項

ユニット	指示事項
機械工学	なし
材料科学フロンティア	なし
海洋空間システムデザイン	なし
先端化学	プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可
化学応用・バイオ	プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可
数理科学	なし
物理工学	なし
電子情報システム	なし

(4) 数理科学ユニットの独自試験(英語)について

数理科学ユニットを志願する一般選抜受験者は、数理科学ユニットが実施する独自試験(英語)を受験することでTOEIC、TOEFLのスコア証明書の提出を免除します。独自試験(英語)の受験を希望する者は学科試験Ⅰの試験時間中に、TOEIC、TOEFLのスコア証明書を提出せずに受験を希望する旨を申し出てください。ただし特別選抜受験時にTOEIC、TOEFLのスコア証明書を提出した者は独自試験(英語)を受験できません。

独自試験(英語)は、数学分野に関する英文の読解および作文の能力に関する筆記試験を行います。

なお、数理科学ユニット志願者がTOEIC、TOEFLのスコア証明書を提出することなく独自試験(英語)を欠席した場合は、合格者とはなりません。

## 9. TOEIC、TOEFLのスコアについて

対象となるテストおよび提出するスコア証明書は以下のとおりです。

対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト
TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC ( <a href="https://www.iibc-global.org/toEIC.html">https://www.iibc-global.org/toEIC.html</a> )
TOEFL-iBT (Home Edition) およびペーパー版テスト (Paper Edition)を含む)	Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票)	TOEFL ( <a href="https://www.toefl-ibt.jp/">https://www.toefl-ibt.jp/</a> )

※1 TOEIC-IP 及び TOEFL-ITP などの団体受験制度、TOEIC Bridge、TOEIC Speaking & Writing Test、TOEFL-PBT は認められません。

※2 TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) については、QR コード付きデジタル公式認定証も可とします。その場合はデジタル公式認定証をプリントアウトしたものを提出してください。なお、デジタル公式認定証に表示される QR コードを用いてその真正性を確認します。

※3 TOEFL スコア証明書については、試験当日に提出して頂く必要があるため、ETS から大学に直送されるスコア証明書は認められません。

○TOEIC、TOEFL いずれかのスコア証明書 (コピーやダウンロードした PDF は上記※2 の場合を除いて不可、原本のみ。以下同じ) を、試験当日に提出してください。スコア証明書は、特別選抜では口述試験の試験時間中、また一般選抜では学科試験 I の試験時間中に回収します。(数理学ユニット志願者は8 (4)「数理学ユニットの独自試験 (英語) について」を参照すること)

○スコア証明書は、TOEIC、TOEFL の受験日が提出日から起算して**2年以内**で顔写真付きのものを提出してください (ただし本要項記載の入試では、TOEIC、TOEFL の受験日が出願期間の最終日から起算して**2年以内**のスコア証明書も有効とします)。無効となるスコア証明書を提出した場合や、試験当日にスコア証明書の提出がない場合は、スコア証明書の提出を免除された者を除き、**合格者とはなりません**。

○TOEFL のスコアについて、Test Taker Score Report に記載される My Best Scores は利用しません。

○TOEIC、TOEFL のスコアについては、以下の得点換算表を用いて 100 点満点に換算し、外国語 (英語) の得点とします。

### 【TOEIC Listening & Reading Test】

TOEIC	換算方法	外国語 (英語)
～ 349 点以下	0	0 点
350 点 ～ 500 点	$(\text{TOEIC} - 350) \div 3$	0 点～50 点
500 点 ～ 800 点	$(\text{TOEIC} - 500) \div 6 + 50$	50 点～100 点
801 点以上～		100 点

### 【TOEFL-iBT】

TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)
～90	100	76	84	63～62	66	51	47	41	18
89	99	75～74	82	61	64	50～49	43	40	15
88	98	73～72	80	60～59	63	48	40	39	12

87～86	96	71	78	58	61	47	38	38	7
85～84	95	70～69	75	57	59	46	34	37～36	2
83	92	68	74	56	56	45	31	35～	0
82～81	90	67～66	73	55～54	55	44	28		
80～79	88	65	71	53	53	43	24		
78～77	87	64	68	52	51	42	21		

○小数点以下の得点は四捨五入します。

○提出されたスコア証明書は、志願者へ返却しません。

## 10. 合格者発表

### 2024年9月5日（木）16時頃

合格者には「合格通知書」を郵送します。また、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイト (<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>) に合格者受験番号を掲載します。

[注1] 「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

[注2] 電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

[注3] 募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格により欠員補充を行う場合があります。追加合格該当者に対し、郵便にて通知します。追加合格に関する問い合わせには一切応じません。

[注4] 出願資格（8）に基づく出願者のうち2025年4月入学希望者の第1次合格者発表も上記と併せて行います。なお、最終的に合格した者には、**2025年3月3日（月）**に合格通知書を郵送します。

## 11. 入学時に必要な経費 [日本政府（文部科学省）国費外国人留学生に対しては徴収しません。]

入学料 282,000円（現行）

[注1] 入学料は、入学手続期間（**【2024年10月入学】2024年9月6日（金）～9月12日（木）** / **【2025年4月入学】2025年3月5日（水）～3月10日（月）**）に間に合うように納入してください。入学手続書類は10月入学者へは合格通知書と一緒に、4月入学者へは2025年2月中旬頃に郵送します。

上記の入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。

[注2] 入学料及び授業料（授業料 年額 535,800円）は、改定される場合があります。在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

## 12. 受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

心身の障がい等のある者が、受験及び修学の上で配慮が必要となる場合は、出願前までに必ず申請書を作成し申し出てください。

また、出願後の不慮の事故などにより、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。

### 【申請方法】

(1) 申請は、下記の様式例を参考に申請書を作成し、診断書（原本または写し）または身体障害

者手帳（写し）、その他参考資料を添えて申請してください。

(2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。

(3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学理工学系事務部教務課理工学府係  
電話番号 045-339-3817

【様式例（A4用紙）】

令和 年 月 日

横浜国立大学長 殿

フリガナ

氏 名

生年月日

住 所 〒

電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学府・専攻・ユニット・教育分野
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験に際して配慮を希望する事項・内容
4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項・内容
5. 出身大学在学中にとられていた配慮事項・内容
6. そ の 他

(添付書類) 診断書（原本または写し）または身体障害者手帳（写し）、その他参考資料

### 13. 注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。返還請求の方法は、理工学系事務部教務課理工学府係へお問い合わせください。
  - ア. 入学検定料を払い込んだが本学府に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった。）場合
  - イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合※ 返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。
- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願の際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書および入学許可書には出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。
- (7) 志望する教育分野、教育プログラム、指導教員については、入試の成績によっては志望のとおりとならない場合があります。第2志望以下についても考慮しておいてください。

- (8) 提出した卒業証明書や成績証明書について第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (9) 出願資格(8)により本学府に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となります。従って、各種国家試験等の資格試験の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件とするものについては、受験資格を欠くこととなりますので注意してください。  
ただし、大学院入学後、大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格した者は、学士の学位を取得することができます。
- (10) 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。
- (11) 本試験に関する変更等が生じた場合は、理工学府のウェブサイトでお知らせすると共に出願者に通知します。
- (12) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (13) 各選抜方法で課された学科試験Ⅰ・Ⅱ、口述試験及び面接を1つでも欠席した場合、および有効なTOEIC、TOEFLのスコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。(数理学部ユニット志願者は8(4)「数理学部ユニットの独自試験(英語)について」を参照すること)
- (14) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってカバン等の中にしまってください。
- (15) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。  
①カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。  
②試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。  
③試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。  
④試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。※使用を許可されたものを除く。
- (16) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(15)と同じです。  
①試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。※使用を許可されたものを除く  
②試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。  
③試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。  
④その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (17) 官公庁又は会社等に在職している者は、入学手続きの際、その長又は代表者の就学承認書(様式は任意)を必要としますので、あらかじめ用意してください。
- (18) 入学手続き後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (19) 入学後の経済支援制度として、「入学料免除(留学生を除く)・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があり、多くの学生が活用しています。

## II 社会人特別選抜学生募集要項

### 1. 趣旨

本学大学院においては、社会人技術者の継続研修及び再教育の場を提供するとともに、それを橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と技術の発展に寄与することを目的として、その門戸を社会に向けて開放しています。その一環として、社会人の勉学を容易にするために、社会人技術者を対象として大学院設置基準第 14 条に定める特例による教育を実施するとともに、ここに掲げる特別選抜制度を実施して社会人技術者の入学の便を図っています。

### 2. 募集人員

【2024 年 10 月入学】

専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員
化学・生命系理工学	先端化学	化学	PSD	若干名
		応用化学	TED	
		エネルギー化学		
	化学応用・バイオ	化学応用・バイオ	TED 又は PED	
		エネルギー化学	TED	

【2025 年 4 月入学】

専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員
機械・材料・海洋系工学	機械工学	機械工学	TED 又は PED	若干名
		航空宇宙工学		
		集積プロセス工学		
	材料科学 フロンティア	材料工学	TED 又は PED	
		航空宇宙工学		
		集積プロセス工学		
海洋空間 システムデザイン	海洋空間	TED 又は PED		
	航空宇宙工学			
化学・生命系理工学	先端化学	化学	PSD	若干名
		応用化学	TED	
		エネルギー化学		
	化学応用・バイオ	化学応用・バイオ	TED 又は PED	
		エネルギー化学	TED	
数物・電子情報系理工学	数理科学	数学	理学	若干名
	物理工学	物理工学	PSD	
	電子情報システム	情報システム	TED 又は PED	
		電気電子ネットワーク		
		集積エレクトロニクス		

※ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します。

### 3. 出願資格

社会人技術者であって、本大学院入学の前までに同一企業等に1年以上正規職員として勤務した経験がある者、又は入学後も出願時点と同一企業内での身分を有し、勤務成績が優秀であると所属長に認められ推薦を受けた者で、次の3つの条件を満たしている者。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 学部教育として、志望の専攻と関連系統の専門教育を受けている者
- (3) 企業等において、志望専攻の専門に関する経験を原則として1年以上有する者

[注1] 上記以外の出願資格は認定しません。

[注2] 社会人特別選抜として出願する全ての者は、出願資格認定審査を行います。あらかじめ志望先の教員と相談のうえ、次の書類を任意の封筒に封入し、**2024年5月13日(月)～5月15日(水)**の間に理工学系事務部教務課理工学府係まで提出してください。

出願書類の受付は郵送または窓口で受け付けますが、いずれも期間内必着とします。

(窓口受付は午前9時から午後17時まで。ただし12時45分から13時45分を除く。)

なお、出願資格認定申請に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトよりダウンロードしてください。

- ①出願書類送付内訳書(別紙1)
- ②出願資格認定申請書(書式11)
- ③出願資格認定用経歴調書(書式13)
- ④最終学歴の卒業証明書
- ⑤出願資格に応じ、下記のいずれか。

**a. 出願時に職務を有する者**：受験許可書及び人物推薦書(勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。)

**b. 職務経験者**：研究又は業務に従事した証明書

- ⑥研究業績調書(書式16)
- ⑦研究(希望)計画書(書式17)
- ⑧354円の切手(速達料を含む)を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒(長形3号)

出願資格認定審査は、横浜国立大学大学院理工学府において行い、審査の結果は、**2024年5月27日(月)**に郵送します。出願資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。その他、出願資格について不明な点は、理工学系事務部教務課理工学府係に問い合わせてください。

### 4. 出願手続

出願する者は、Web出願システムで出願申請を行った後、出願書類(5を参照)を角形2号(24cm×33.2cm)以上の封筒に封入して、封筒表面にWeb出願システムから印刷した宛名ラベル(書式30)を貼付の上、郵便局の窓口から書留郵便で送付してください。

#### 4-1. Web出願システムによる出願申請

**2024年5月24日(金)～6月4日(火)**の間にWeb出願システムで出願申請を行ってください。

Web 出願システム URL : <https://e-apply.jp/e/ynu/>

#### 注意事項

- ① Web 出願システムの入力において、60 分間通信がない場合は、エラーとなりますので、ご注意ください。
- ② Web 出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ③ Web 出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。  
「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社キャリアタス）  
TEL : 0120-202079（受付時間：月～金 10:00～18:00）  
E-Mail : cvs-web@career-tasu.co.jp

※Web 出願システムによる出願申請を行っただけでは出願手続は完了しません。下記 4-2～5 を参照のうえ、出願書類を郵送してください。

#### 4-2. 郵送による出願

**出願書類を 2024 年 5 月 31 日（金）から 6 月 6 日（木）の間に届くよう書留郵便で送付してください。**出願書類の受付は書留郵便のみで、期間内必着とします。窓口および電子メールでの受付は行いません。

受付期間後に到着したものは受理しないので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類のうち、**2024 年 6 月 5 日（水）までの発信局消印のある書留速達郵便**に限り受理します。

[注1] 土曜日、日曜日・祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

[注2] 海外在住の志願者は、日本国内に在住する代理人が出願書類を郵送してください。やむを得ず、日本国外から出願書類を送付する場合は、**2024 年 6 月 6 日（木）**までに到着するように、EMS（国際スピード郵便）等、配達を記録できる方法で郵送してください。【期限内必着】ただし、この場合も返信先住所は日本国内のみとします。

[注3] 海外在住の志願者で、受入を内諾している指導教員を通じて出願を行う場合のみ、窓口受付を認めます。

#### 4-3. 出願書類提出先

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5  
横浜国立大学 理工学系事務部教務課理工学府係

### 5. 出願書類等

出願に必要な本学所定の様式は、Web 出願システム及び理工学府ウェブサイトよりダウンロードして作成してください。様式の印刷は、全て「**A4サイズ・白色用紙**」に「**片面印刷**」とします。

出願書類等	注意事項	書式番号
-------	------	------



出願書類送付内訳書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用してください。出願書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて、封入してください。	別紙2 ※理
入学願書	Web出願システムにて必要事項（志願者の氏名、連絡先、学歴、志望先（専攻、ユニット、教育分野、プログラム、指導教員）等）を入力後、印刷して作成してください。 縦4cm×横3cm 無帽、上半身正面、背景無地、3ヶ月以内に撮影した写真（1枚）を入学願書に貼り付けてください。 〔注〕入学願書に貼付した写真と同一の写真を受験票（6を参照）に貼付してください。	1-1 ※出
卒業証明書	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものを提出してください。 ・卒業証書の写しをもって代える場合は必ず卒業証書を事前に窓口に提示して原本確認を受けてください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。〔ただし、出願資格（1）による出願者は除く。〕 ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	
成績証明書	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものを提出してください。日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	
在留資格に関する証明	現在日本に居住している外国人は、在留カードの写し（両面）を提出してください。その他の外国人は、パスポートの写しを提出してください。	
外国人留学生履歴書 （外国人留学生のみ）	Web出願システムにて必要事項を入力後、印刷して作成してください。〔ただし、出願資格（1）による出願者は除く。〕	19-1 ※出
受入内諾書 （外国人留学生のみ）	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。希望指導教員の署名を得たうえで提出してください。ただし、希望指導教員の署名は原本でなくてもかまいません。	19-2 ※理

<p>入学検定料</p>	<p>【払込金額】 30,000 円  【払込期間】 <b>2024年6月4日(火)</b> までにお支払いください。  【払込方法】  Web出願システムで出願申請した後に表示される支払手続画面に従い、支払手続を完了してください。支払方法の詳細は、Web出願システム「はじめに」の「お支払い方法」を参照してください。</p> <p>①日本国内在住の志願者  コンビニエンスストアから払い込むことができます（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、サークルKサンクスに限ります）。  ※店内にある情報端末機を利用して払込を行ってください。（ATMでは振込できません。必ずレジで払い込んでください。）</p> <p>②海外在住の志願者  クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFU・DC・UFJ・NICOS）及び中国銀聯網決済により払い込むことができます。</p> <p>[注1] 入学検定料が払い込まれていない場合は、出願を受理しません。  [注2] 各支払に係る手数料は、入学志願者本人の負担となります。  ※災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行う予定です。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。  (<a href="https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html">https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html</a>)</p>
--------------	--

※理 理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。

※出 Web出願システムにて必要事項を入力後、印刷して作成してください。

[注] 提出書類の免除

出願資格認定申請の際に既に提出した書類は、再提出を免除します。

## 6. 受験票

**2024年6月19日(水)**までに、出願を正式に受理した旨を電子メールでお知らせします。受験票は、メールに記載されている注意事項に従い、Web出願システムにログインして印刷してください。印刷した受験票は、入学願書と同一の写真を貼付のうえ、試験当日に持参してください。受験票（表・裏）には何も記入してはいけません。

## 7. 選抜の方法および試験内容

面接試験（専攻科目、研究内容、研究業績、研究計画および、教育プログラムへの適性等に関する口述試験）によって能力及び入学後の研究に対する意欲を確認し、合格者を決定します。面接試験を欠席した場合は、合格者とはなりません。なお、受験にあたっての指示事項については、希望指導教員に確認してください。

## 8. 試験日程及び場所

### (1) 面接試験

期 日	科 目 名	時 間
8月21日(水)～8月22日(木)	面接試験	試験室割発表時に指示されます。(8(2)を参照)

- ・受験者は試験開始 20 分前に試験室に入室してください。

### (2) 面接試験の場所

- ・面接試験は横浜国立大学構内（横浜市保土ヶ谷区常盤台）で行うか、オンラインで行うか、選択可能とします（※どちらで実施するかは、受験者の意向を踏まえて大学が決定します）。

面接試験の試験室割等は、**2024年8月2日(金)までにWeb出願システムに掲載**します。

## 9. 合格者発表

### **2024年9月5日(木) 16時頃**

合格者には「合格通知書」を郵送します。また、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイト  
に合格者受験番号を掲載します。

(ウェブサイトアドレス <https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>)

[注1] 「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

[注2] 電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

[注3] 募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格により欠員補充を行う場合があります。追加合格該当者に対し郵便にて通知します。追加合格に関する問い合わせには一切応じません。

## 10. 入学時に必要な経費 [日本政府(文部科学省)国費外国人留学生に対しては徴収しません。]

入学金 282,000円(現行)

[注1] 入学金は、入学手続期間 (**【2024年10月入学】2024年9月6日(金)～9月12日(木)**  
**／【2025年4月入学】2025年3月5日(水)～3月10日(月)**) に間に合うように納入し  
てください。入学手続書類は10月入学者へは合格通知書と一緒に、4月入学者へは2025  
年2月中旬頃に郵送します。

上記の入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。

[注2] 入学金及び授業料(授業料 年額 535,800円)は、改定される場合があります。  
在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

## 11. 受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

心身の障がい等のある者が、受験及び修学の上で配慮が必要となる場合は、出願前までに必  
ず申請書を作成し申し出てください。

また、出願後の不慮の事故などにより、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。

#### 【申請方法】

- (1) 申請は、下記の例を参考に申請書を作成し、診断書（原本または写し）または身体障害者手帳（写し）、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学理工学系事務部教務課理工学府係  
電話番号 045-339-3817

#### 【申請書〈例〉様式（A4用紙）】

	令和 年 月 日
横浜国立大学長 殿	フリガナ
	氏 名
	生年月日
	住 所 〒
	電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。  
記

1. 志望する学府・専攻・ユニット・教育分野
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験に際して配慮を希望する事項・内容
4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項・内容
5. 出身大学在学中にとられていた配慮事項・内容
6. そ の 他

(添付書類) 診断書（原本または写し）または身体障害者手帳（写し）、その他参考資料

## 12. 注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の提出書類の変更は認めません。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。返還請求の方法は、理工学系事務部教務課理工学府係へお問い合わせください。
  - ア. 入学検定料を払い込んだが本学府に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった。）場合
  - イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合※返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。
- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願の際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書および入学

許可書には出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。

- (7) 志望する教育分野、教育プログラム、指導教員については、入試の成績によっては志望のとおりとならない場合があります。第2志望以下についても考慮しておいてください。
- (8) 提出した卒業証明書や成績証明書について第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (9) 本試験に関する変更等が生じた場合は、理工学府のウェブサイトでお知らせすると共に出願者に通知します。
- (10) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (11) 面接試験を欠席した場合は、合格者とはなりません。
- (12) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってカバン等の中に入れてください
- (13) 官公庁又は会社等に在職している者は、入学手続きの際、その長又は代表者の就学承認書（様式は任意）を必要としますので、あらかじめ用意してください。
- (14) 入学続き後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (15) 入学後の経済支援制度として、「入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があり、多くの学生が活用しています。

## Ⅲ 博士課程前期の概要

### 1. 大学院教育研究の目的

実践的学術の国際拠点を目指す本学の理工系大学院の基幹をなす理工学府において、自らの専門分野以外の分野の科学技術にも目を向ける進取の精神に富み、高い倫理観とグローバルに活躍するために必要な国際的に通用する知識と能力において理学と工学の両方のセンスを兼ね備えた理工系人材を育成することにより、ものづくりを中心とした産業を更に強化・発展させる。

理工学府博士課程前期では、自らの専門分野における専門科目で培われる知識と能力に加え、理工系人材の基盤となる情報数理系科目、学府共通科目、専攻共通科目の修得などによる基盤的学術に関する幅広い教育と、独創的な技術と知の創造を可能にする研究活動を通じて、自ら課題を探究し、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下して解決し得る高度専門職業人としての技術者・研究者を育成する。

### 2. 専攻の特色と育成人材像

#### 2.1 機械・材料・海洋系工学専攻

機械工学、材料工学、船舶海洋工学、航空宇宙工学は、基本原理に立脚した要素技術を組み合わせることで高度なシステムや高機能の材料を作り上げる工学である。そのため本専攻では、基本原理の理解と応用のための理学的センスの教育及び技術革新のグローバル化への適応力の育成を強化し、科学を基礎に置く要素技術、要素の機能を引き出す設計技術、社会や環境との調和を図る生産技術を統合して高度なシステムや高機能の材料を生み出す教育と研究を行い、実践的な高度専門技術者・研究者としてグローバルに活躍できる人材を養成する。

##### 2.1.1 教育分野

機械・材料・海洋系工学専攻は、以下の5つの教育分野から構成される。それぞれの教育分野に、付与される学位と教育プログラム名を併記する。

- ・機械工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・材料工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・海洋空間教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・航空宇宙工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・集積プロセス工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム

##### 2.1.2 教育プログラム

機械・材料・海洋系工学専攻での教育は、前節で示した各教育分野で行われるが、学位取得のためのプロセスとしての2つの教育プログラムを用意している。

・工学 (TED) プログラム (機械工学教育分野、材料工学教育分野、海洋空間教育分野、航空宇宙工学教育分野、集積プロセス工学教育分野)

機械工学教育分野では、機械工学に関する基礎的能力を有し、先進的な機械あるいは機械システムを構築するための高度な能力と専門知識を備えることを目指す人を求める。材料工学教育分野では、材料工学・材料科学に関する基礎的能力を有し、材料の力学と加工、材料の強度と組織、材料の機能と構造、材料の物理化学の各分野に関する高度な技術を学びたい人を求める。海洋空間教育分野では、船舶海洋工学に関する基礎的能力を有し、海洋空間を利用するための技術や基盤技術を統合する技術に積極的に取り組める人を求める。さらに機械工学、材料工学、船舶海洋工学のそれぞれの分野に関する基礎知識に基づいて、大気圏・宇宙を利用するための航空宇宙工学に関する技術を学びたい人、半導体後工程，加工，造形，評価・解析に関わる集積プロセス工学の技術を学びたい人を求める。

・工学 (PED) プログラム (機械工学教育分野、材料工学教育分野、海洋空間教育分野、航空宇宙工学教育分野、集積プロセス工学教育分野)

機械工学教育分野では、機械工学に関する基礎的能力を有し、機械工学に係わる諸問題に対してグローバルに対応できる、実務能力を備えることを目指す人を求める。材料工学教育分野では、材料工学・材料科学に関する基礎的能力を有し、材料の力学と加工、材料の強度と組織、材料の機能と構造、材料の物理化学の各分野の実践的な技術を学びたい人を求める。海洋空間教育分野では、船舶海洋工学に関する基礎的能力を有し、海洋空間を利用するための機器の計画、建造、運用に関する実践的な技術課題に積極的に取り組める人を求める。さらに、機械工学、材料工学、船舶海洋工学のそれぞれの分野に関する基礎知識に基づいて、大気圏・宇宙を利用するための実践的な航空宇宙工学の技術課題に取り組みたい人、半導体後工程，加工，造形，評価・解析に関わる実践的な集積プロセス工学の技術課題に取り組みたい人を求める。

## 2.2 化学・生命系理工学専攻

現代の物質文明は、創造的自然科学に基づいた機能材料の開発とそれを活用する技術開発の総合的で高度な科学技術を基盤として発展している。その持続的発展のためには、優れた物質や材料の探求、生産システムの構築、生命現象の解明と応用が重要な鍵となり、従来の化学にかかわる学問体系を超え、数理や情報等も含めた総合的な体系が必要である。化学・生命系理工学専攻では、化学と生命を中心に据え、自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・生命に関連する広範な課題に原理原則と情報を活用して総合的に対処できる基礎力と総合力を持ち、進化する科学技術に対応できる、国際的な視野を持った人材を育成する。

### 2.2.1 教育分野

化学・生命系理工学専攻は、以下の4つの教育分野から構成される。それぞれの教育分野に、付与される学位と教育プログラム名を併記する。

- ・化学教育分野：修士（理学）、理学（PSD）プログラム
- ・応用化学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラム
- ・エネルギー化学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラム
- ・化学応用・バイオ教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム

### 2.2.2 教育プログラム

化学・生命系理工学専攻での教育は、前節で示した各教育分野で行われるが、学位取得のためのプロセスとしての3つの教育プログラムを用意している。

#### ・工学（TED）プログラム（応用化学教育分野、エネルギー化学教育分野、化学応用・バイオ教育分野）

物質・材料の基盤となる無機化学、分析化学、物理化学、有機化学等の諸分野に加え、材料工学、エネルギー化学、触媒化学、高分子化学、生化学、化学工学、生物工学等に関する基礎的知識を有し、新しい機能を発現する分子・材料の探求や生産システムの構築、エネルギーの変換や利用に資する材料の創出やプロセスの構築、生命現象の解明と応用などに関して、自ら課題を設定し深く探求するとともに、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的に判断するための基礎研究能力・基礎開発能力を育成する。本プログラムでは、化学、エネルギー化学、バイオ・ライフサイエンスに関して、専門分野の探求にとどまらず、広く他分野にも目を向けることができ、進化する科学技術に対応できる基礎的能力を身に付けた人材を育成する。

#### ・工学（PED）プログラム（化学応用・バイオ教育分野）

物質・材料の基盤となる無機化学、分析化学、物理化学、有機化学等の諸分野に加え、材料工学、化学工学、生物工学、生化学等に関する基礎知識を有し、優れた物質や材料の探求、生産システムや機器の設計、あるいは生命現象の解明と応用に関して、基礎知識を総合して応用技術を構築する基礎的能力の育成を主眼として教育する。本プログラムでは、化学工学、エネルギー化学、材料工学、バイオ・ライフサイエンスおよびこれらの関連分野について、ものづくり・エネルギー・生命に関連する広範な課題に原理原則と情報を活用して、総合的に対処で



きる基礎的能力と進化する科学技術に対応できる国際的かつ実践的な能力を身に付けた人材を育成する。

・理学 (PSD) プログラム (化学教育分野)

無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、触媒化学、高分子化学、電気化学、生物化学等の化学の諸分野において、分子・材料の設計原理およびその合成方法の探求や、化学的事象・物性等の解明を行うことにより、化学分野における学術的探求についての基礎能力を涵養する。併せて、有機・無機材料工学、触媒工学、生物工学等、化学・生命系諸分野の工学的応用に関する教育を行うことにより、化学分野における工学的価値観の基盤を育成する。これらの教育を総合することにより、理学的な真理探究のみならず、理学的基礎科学に基づいた次世代の基盤材料開発にも貢献できる基礎的能力を身に付けた、サイエンス型化学産業の育成に資する人材を養成する。

## 2.3 数物・電子情報系理工学専攻

社会を一変させた目覚ましい情報・通信技術の革新は、電気・電子・通信・情報工学の著しい深化によりもたらされた。新しいパラダイムシフトやイノベーションの創出と実現のためには、数理科学、物理学などの基礎（理学）から応用（工学）に至る広範囲な分野に精通した総合的・学際的見識が求められている。数物・電子情報系理工学専攻（博士課程前期）の人材養成目的は、数理科学、物理学、電気工学、電子工学、通信工学、情報工学、医療情報工学、応用物理学などの幅広い分野での教育・研究を通じて、実践的な技術者、研究者としてグローバルに活躍のできる創造的な人材の育成である。

### 2.3.1 教育分野

数物・電子情報系理工学専攻は、以下の5つの教育分野から構成される。それぞれの教育分野に、付与される学位と教育プログラム名を併記する。

- ・数学教育分野：修士（理学）、理学プログラム
- ・物理工学教育分野：修士（理学）、PSDプログラム
- ・応用物理教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・情報システム教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・電気電子ネットワーク教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・集積エレクトロニクス教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム

### 2.3.2 教育プログラム

・工学（TED）プログラム（応用物理教育分野、情報システム教育分野、電気電子ネットワーク教育分野、集積エレクトロニクス教育分野）

上記の基礎的な学力を有し、さらに高度な専門性を身につけ、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下して解決できる力を持つ、世界で活躍できる技術者・研究者を目指す人を求める。

・工学（PED）プログラム（応用物理教育分野、情報システム教育分野、電気電子ネットワーク教育分野、集積エレクトロニクス教育分野）

上記の基礎的な学力を有し、多様化・高度化した産業社会の現代的課題に対応できる実務家型技術者・研究者となることに情熱を持つ人を求める。

・理学及びPSDプログラム（数学教育分野、物理工学教育分野）

物理学又は数理科学の基礎的な知識を有し、その知見を活用する能力を有するとともに、自らの専門分野における高度な専門性と、関連分野に対する広い視野を持つことにより、世界で活躍できる技術者・研究者などを目指す人を求める。

## IV 指導教員一覧

2024年4月更新

各指導教員の詳細については、横浜国立大学理工学府のWEBサイト(<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>)を参照のこと。

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M: 博士課程前期) (D: 博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	荒木 拓人	アラキ タクト	教授	機械工学(MD)、エネルギー材料(D)	熱流体工学、移動論、燃料電池、マイクロ電気・機械システム	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	石井 一洋	イシイ カズヒロ	教授	機械工学(MD)、航空宇宙工学(M)	燃焼工学、推進工学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	千 強	ウ キョウ	教授	機械工学(MD)、集積プロセス工学(M)	計算力学、材料力学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	尾崎 伸吾	オザキ シンゴ	教授	機械工学(MD)、エネルギー材料(D)	構成方程式、塑性力学、摩擦、自己治癒材料、テラメカニクス	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	佐藤 恭一	サトウ ヤスカズ	教授	機械工学(MD)	メカトロニクス、電気・機械システム、油空圧工学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	百武 徹	ヒヤクタケ トオル	教授	機械工学(MD)	数値流体力学、バイオメカニクス、マイクロ・ナノ流体工学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	前田 雄介	マエダ ユウスケ	教授	機械工学(MD)	ロボット工学、生産システム工学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	松井 純	マツイ ジュン	教授	機械工学(MD)	流体機械の内部流れ、数値流体力学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	丸尾 昭二	マルオ ショウジ	教授	機械工学(MD)、集積プロセス工学(M)	超微細3Dプリンティング、マイクロマシン、マイクロ化学分析システム	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	井上 史大	イノウエ フミヒロ	准教授	機械工学(M)、集積プロセス工学(M)	半導体パッケージング、三次元実装技術	—	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	太田 裕貴	オオタ ヒロキ	准教授	機械工学(MD)、集積プロセス工学(M)	マイクロ・ナノ加工、センシング工学、ソフトマテリアル	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	加藤 龍	カトウ リュウ	准教授	機械工学(MD)	ロボット工学、医用福祉機械、リハビリテーション工学、ブレインマシンインターフェース	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	北村 圭一	キタムラ ケイイチ	准教授	機械工学(MD)、航空宇宙工学(M)	空気力学、数値流体力学、極超音速流、混相流	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	酒井 清吾	サカイ セイゴ	准教授	機械工学(MD)	伝熱、数値シミュレーション、ふく射交換	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	篠塚 淳	シノヅカ ジュン	准教授	機械工学(MD)	切削加工、有限要素法、材料の動的挙動	○	○

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	鷹尾 祥典	タカオ ヨシノリ	准教授	機械工学(MD)、航空宇宙工学(M)	電気推進、プラズマ応用	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	藤澤 慶	フジサワ ケイ	准教授	機械工学(M)	液滴衝突、エロージョン、研磨、モデリング	—	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	瀧脇 大海	フチワキ オオミ	准教授	機械工学(MD)、集積プロセス工学(M)	機構、精密位置決め、マイクロマニピュレーション、アクチュエータ	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	機械工学	黒瀬 築	クロセ キズク	助教	機械工学(M)	伝熱工学、熱交換器、熱輸送デバイス、相変化熱伝達	—	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	梅澤 修	ウメザワ オサム	教授	材料工学(MD)、エネルギー材料(D)	金属物理学、材料組織学、材料強度学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	中尾 航	ナカオ ワタル	教授	材料工学(MD)、エネルギー材料(D)	機械材料・材料力学、構造・機能材料、無機材料・物性	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	長谷川 誠	ハセガワ マコト	教授	材料工学(MD)、航空宇宙工学(M)	材料強度、破壊力学、材料組織制御、複合材料、コーティング	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	廣澤 渉一	ヒロサワ ショウイチ	教授	材料工学(MD)、エネルギー材料(D)	構造材料設計、金属組織制御、計算材料学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	向井 剛輝	ムカイ コウキ	教授	材料工学(MD)	半導体ナノ構造、量子光学材料、光電子工学材料、太陽電池	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	大竹 充	オオタケ ミツル	准教授	材料工学(MD)、エネルギー材料(D)、集積プロセス工学(M)	ナノ材料、結晶成長、磁気物性	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	大野 直子	オオノ ナオコ	准教授	材料工学(MD)	原子力材料、極限材料、微細組織解析	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	中津川 博	ナカツガワ ヒロシ	准教授	材料工学(MD)	機能材料工学、固体電子論、熱電変換材料、第一原理計算	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	前野 智美	マエノ トモヨシ	准教授	材料工学(MD)	生産加工、塑性加工	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	材料科学フロンティア	長田 俊郎	オサダ トシオ	客員教授	エネルギー材料(D)	高温構造材料、材料組織学、材料強度学、破壊力学	○	—
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	岡田 哲男	オカダ テツオ	教授	海洋空間(MD)	船体構造設計、構造解析	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	川村 恭己	カワムラ ヤスミ	教授	海洋空間(MD)	構造力学、CAE、構造信頼性	○	○

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	西 佳樹	ニシ ヨシキ	教授	海洋空間(MD)	海洋資源、深海開発、海水淡水化	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	宮路 幸二	ミヤジ コウジ	教授	海洋空間(MD)、航空宇宙工学(M)	高速空気力学、数値流体力学、航空機設計	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	村井 基彦	ムライ モトヒコ	教授	海洋空間(MD)	海洋工学、大型海洋構造物設計、浮体式構造物設計、海洋空間利用システム、流力弾性学、海洋環境工学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	高木 洋平	タカギ ヨウヘイ	准教授	海洋空間(MD)	数値流体力学、抵抗低減、混相流	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	樋口 丈浩	ヒグチ タケヒロ	准教授	海洋空間(MD)、航空宇宙工学(M)	航空宇宙機の姿勢制御・誘導制御、航空宇宙システム設計、最適制御、UAV	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	平川 嘉昭	ヒラカワ ヨシアキ	准教授	海洋空間(MD)	船体運動、海洋波、水槽実験、実海域実験	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	満行 泰河	ミツユキ タイガ	准教授	海洋空間(MD)	大規模複雑システム設計、システム工学	○	○
機械・材料・海洋系工学専攻	海洋空間システムデザイン	李 僑	リ キョウ	准教授	海洋空間(M)	浮体運動、海洋再生可能エネルギー利用、水産養殖設備	—	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	跡部 真人	アトベ マヒト	教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)	有機電気化学、電解合成、電解重合	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	稲垣 怜史	イナガキ サトシ	教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)	触媒化学、ゼオライト科学、ファインケミカルの環境調和合成	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	大山 俊幸	オオヤマ トシユキ	教授	化学(MD)、応用化学(MD)	高分子合成、機能性高分子、感光性高分子、熱硬化性樹脂	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	川村 出	カワムラ イズル	教授	化学(MD)、応用化学(MD)	構造生物学、生物物理化学、生体高分子	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	窪田 好浩	クボタ ヨシヒロ	教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)	触媒化学、ゼオライト科学、ファインケミカルの環境調和合成	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	児嶋 長次郎	コジマ チョウジロウ	教授	化学(MD)、応用化学(MD)	生物物理化学、構造生物学、ケミカルバイオロジー	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	獨古 薫	ドッコ カオル	教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	電気化学、無機材料化学、電気化学デバイス	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	本倉 健	モトクラ ケン	教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	協奏的触媒作用、固定化触媒、二酸化炭素の化学変換	○	○

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
化学・生命系理工学専攻	先端化学	藪内 直明	ヤブウチ ナオアキ	教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	固体化学、材料化学、電気化学	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	山口 佳隆	ヤマグチ ヨシタカ	教授	化学(MD)、応用化学(MD)	錯体化学、有機金属化学、均一系分子触媒	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	伊藤 傑	イトウ スグル	准教授	化学(MD)、応用化学(MD)	有機合成化学、光化学、超分子化学	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	上野 和英	ウエノ カズヒデ	准教授	化学(MD)、応用化学(D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	電気化学、有機材料化学	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	生方 俊	ウブカタ タカシ	准教授	化学(MD)、応用化学(MD)	光機能化学、フォトクロミズム	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	菊地 あづさ	キクチ アツサ	准教授	化学(MD)、応用化学(MD)	光物理化学、一重項酸素、フォトクロミズム、有機系紫外線吸収剤	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	五東 弘昭	ゴトウ ヒロアキ	准教授	化学(MD)、応用化学(MD)	有機合成化学、物理有機化学、分子設計	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	信田 尚毅	シダ ナオキ	准教授	化学(M)、エネルギー化学(M)	有機電気化学、電解合成、電極触媒、分子触媒	—	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	多々良 涼一	タタラ リョウイチ	准教授	化学(M)、エネルギー化学(M)	電気化学、物理化学、材料化学	—	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	迫村 勝	サコムラ マサル	講師	化学(MD)、応用化学(MD)	物理化学、表面科学	○	○
化学・生命系理工学専攻	先端化学	井出 裕介	イデ ユウスケ	客員教授	エネルギー材料(D)	鉱物、低次元材料、触媒、光触媒、UV遮蔽	○	—
化学・生命系理工学専攻	先端化学	万代 俊彦	マンダイ トシヒコ	客員准教授	エネルギー材料(D)	電気化学、溶液化学、構造化学、有機合成	○	—
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	岡崎 慎司	オカザキ シンジ	教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)	センサ工学、腐食防食工学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	金井 俊光	カナイ トシミツ	教授	化学応用・バイオ(MD)	光学材料、コロイド化学、マイクロ流体	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	高垣 敦	タカガキ アツシ	教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	触媒化学、不均一系触媒、無機材料化学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	高橋 宏治	タカハシ コウジ	教授	化学応用・バイオ(MD)	材料強度学、材料工学	○	○

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	武田 穰	タケダ ミノル	教授	化学応用・バイオ(MD)	応用生物化学、微生物学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	福田 淳二	フクダ ジュンジ	教授	化学応用・バイオ(MD)	再生医療、ティッシュエンジニアリング	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	光島 重徳	ミツシマ シゲノリ	教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	エネルギー変換化学(燃料電池、工業電解材料)	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	吉武 英昭	ヨシタケ ヒデアキ	教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)	環境物理化学・物質化学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	飯島 一智	イジマ カズトシ	准教授	化学応用・バイオ(MD)	生体関連化学、医工学、生体材料、再生医療	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	黒田 義之	クロダ ヨシユキ	准教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)	無機合成化学、エネルギー材料	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	鈴木 敦	スズキ アツシ	准教授	化学応用・バイオ(MD)	発生生物学、生化学、マウス遺伝学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	中村 一穂	ナカムラ カズホ	准教授	化学応用・バイオ(MD)	膜分離、分離工学、環境化学工学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	新田見 匡	ニッタミ タダシ	准教授	化学応用・バイオ(MD)	生物化学工学、環境工学、微生物学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	松澤 幸一	マツザワ コウイチ	准教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)	応用電気化学、エネルギー変換材料	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	三角 隆太	ミスミ リュウタ	准教授	化学応用・バイオ(MD)	ミキシング、晶析、移動現象、数値流動解析	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	室町 実大	ムロマチ サネヒロ	准教授	化学応用・バイオ(M【PEDのみ】 D)、エネルギー化学(M)、エネルギー材料(D)	ガスハイドレート、エネルギープロセス、結晶工学	○	○
化学・生命系理工学専攻	化学応用・バイオ	相原 雅彦	アイハラ マサヒコ	講師	化学応用・バイオ(MD)	化学エネルギー工学、化学反応工学、膜分離、グリーン水素	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	数理科学	植木 誠一郎	ウエキ セイイチロウ	教授	数学(MD)	解析関数空間と作用素	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	数理科学	梶原 健	カジワラ タケシ	教授	数学(MD)	代数学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	数理科学	黒木 学	クロキ マナブ	教授	数学(MD)	統計的因果推論	○	○

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
数物・電子情報系理工学専攻	数理科学	竹居 正登	タケイ マサト	教授	数学(MD)	格子確率モデル、確率過程	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	数理科学	本田 淳史	ホンダ アツフミ	准教授	数学(MD)	微分幾何学、部分多様体論、特異点論	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	片山 郁文	カタヤマ イクフミ	教授	物理工学(MD)	テラヘルツ及び超高速分光	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	洪 鋒雷	コウ ホウライ	教授	物理工学(MD)	超精密分光・量子計測	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	小坂 英男	コサカ ヒデオ	教授	物理工学(MD)	量子コンピュータ、量子通信、量子情報物理	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	佐藤 丈	サトウ ジョウ	教授	物理工学(MD)	素粒子論	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	関谷 隆夫	セキヤ タカオ	教授	物理工学(MD)	固体物理、高圧物理	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	南野 彰宏	ミナミノ アキヒロ	教授	物理工学(MD)	ニュートリノ物理学、素粒子物理学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	Raebiger Hannes	レービガー ハンネス	教授	物理工学(MD)	物理学、量子化学、材料学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	赤松 大輔	アカマツ ダイスケ	准教授	物理工学(M)	量子エレクトロニクス、量子計測、量子光学、原子物理	—	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	上原 政智	ウエハラ マサトモ	准教授	物理工学(MD)	固体物理、物質科学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	大野 真也	オオノ シンヤ	准教授	物理工学(MD)	表面物理学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	片寄 祐作	カタヨセ ユウサク	准教授	物理工学(MD)	宇宙線物理学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	島津 佳弘	シマヅ ヨシヒロ	准教授	物理工学(MD)	低温物性実験	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	首藤 健一	シュドウ ケンイチ	准教授	物理工学(MD)	表面物理学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	白崎 良演	シラサキ リョウエン	准教授	物理工学(MD)	物性理論(凝縮系物理学)、複雑系科学	○	○



専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	馬場 基彰	バンバ モトアキ	准教授	物理工学(M)	光量子物理学理論	—	○
数物・電子情報系理工学専攻	物理工学	堀切 智之	ホリキリ トモユキ	准教授	物理工学(MD)	量子情報、量子光学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	赤津 観	アカツ カン	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	パワーエレクトロニクス、電力変換工学、制御工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	荒川 太郎	アラカワ タロウ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	光エレクトロニクス、半導体	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	市毛 弘一	イチゲ コウイチ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	デジタル信号処理、近似理論、移動体通信、画像処理	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	関口 康爾	セキグチ コウジ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	スピントロニクス、マグノニクス、エネルギーハーベスティング	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	竹村 泰司	タケムラ ヤスシ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	バイオ医療マグネティックス、磁気工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	辻 隆男	ツジ タカオ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	電力システム工学、スマートグリッド、再生可能エネルギー	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	馬場 俊彦	ババ トシヒコ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	光エレクトロニクス、ナノフォトニクス、集積フォトニクス、IoTセンサ	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	濱上 知樹	ハマガミ トモキ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	知能情報学、ソフトコンピューティング、システム工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	福永 香	フクナガ カオリ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	電磁波センシング、非破壊検査、文化財科学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	藤本 康孝	フジモト ヤスタカ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	システム工学、ロボット工学、制御工学、電気機器工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	吉川 信行	ヨシカワ ノブユキ	教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	集積回路、電子デバイス、超伝導エレクトロニクス	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	石川 直樹	イシカワ ナオキ	准教授	応用物理(M)、情報システム(M)、電気電子ネットワーク(M)、集積エレクトロニクス(M)	移動体通信、無線信号処理、時空間符号化	—	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	大塚 和弘	オオツカ カズヒロ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	マルチモーダル情報処理、社会的信号処理、コミュニケーション科学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	大槻 貴司	オオツキ タカシ	准教授	応用物理(M)、情報システム(M)、電気電子ネットワーク(M)、集積エレクトロニクス(M)	エネルギーシステム工学、エネルギー・電力経済、気候変動問題	—	○

専攻	ユニット	氏名	フリガナ	職名	担当教育分野 (M:博士課程前期) (D:博士課程後期)	専門分野	受入大学院生の種類	
							博士	修士
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	大矢 剛嗣	オオヤ タカヒデ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	電子デバイス・電子機器、電子・電気材料工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	久我 宣裕	クガ ノブヒロ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	マイクロ波工学・電磁波測定・アンテナ工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	下野 誠通	シモノ トモユキ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	モーションコントロール、ハプティクス、メカトロニクス、ロボット工学、電気機器工学	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	杉本 千佳	スギモト チカ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	知覚情報処理、生体システム工学、ヒューマンセンシング、医療ICT	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	孫 鶴鳴	ソン カクメイ	准教授	応用物理(M)、情報システム(M)、電気電子ネットワーク(M)、集積エレクトロニクス(M)	動画処理、コンピュータビジョン、深層学習、組み込みシステム	—	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	中田 雅也	ナカタ マサヤ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	ソフトコンピューティング、最適化、データマイニング	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	西島 喜明	ニシジマ ヨシアキ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	プラズモニクス、光エレクトロニクス、ナノ光センサー、光熱エネルギー変換	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	水野 洋輔	ミズノ ヨウスケ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	センシングフォトンクス、光ファイバ工学、非線形光学、光エレクトロニクス	○	○
数物・電子情報系理工学専攻	電子情報システム	山梨 裕希	ヤマナシ ユウキ	准教授	応用物理(MD)、情報システム(MD)、電気電子ネットワーク(MD)、集積エレクトロニクス(M)	電子デバイス・電子機器、電子・電気材料工学	○	○

## **V 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例 による教育の実施について (社会人技術者又は研究者に対する大学院教育の特例)**

近年、大学院における社会人技術者又は研究者の継続研修・再教育及び博士の学位取得の要望が高まっておりますが、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は、最低博士課程前期は2年間、博士課程後期は3年間その勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

一方、大学院設置基準（文部科学省令）第 14 条では、「大学院の課程においては教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期においては授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の就学に配慮がなされています。これらの背景を踏まえ同条に定める教育方法の特例を大学院での履修を希望する社会人技術者又は研究者に対し実施しています。

この内容は次のとおりです。

- (1) 修学年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）のうち1年間は、原則として、全日登学をすること。
- (2) 特例による授業は平日の夜間（17時50分～19時20分）に開設するが、昼間の授業を含めた全時間帯の受講を許可する。
- (3) 博士課程前期では学業に専念する1年間は主として修士研究に充てられるように修了に必要な授業の単位修得は夜間（17時50分～19時20分）の授業を利用して行うよう履修計画を立てること。したがって、学業に専念する期間における昼間の受講は夜間に開講されていない授業に限ることが望ましい。
- (4) 入学に当たっては、指導教員の指導のもとに、博士課程前期は2年間、博士課程後期は3年間を見通した履修計画をたてること。
- (5) 修学年限で修了するのが勤務の都合上無理な場合は、あらかじめ博士課程前期は3～4年間、博士課程後期は4～6年間にわたる履修計画をたてることも考慮すること。
- (6) 「特例」による履修計画の変更はその都度申し出て許可を得ること。

本学大学院理工学府は、上記特例の適用によって、勤務を離れる期間を1年間に短縮する条件を醸成することにより、通常の方法のみでは実現することが難しい社会人技術者の大学院入学の機会を与えて、継続研修及び再教育の場を提供することを目指しております。研究のテーマに柔軟性を持たせ、企業での実践的研究も、その研究が修士・博士研究にふさわしければ認めるなど、社会人の入学を橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と技術の発展に寄与することも特例を実施する目的の一つであります。

## VI 長期履修学生について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することが認められた者をいいます。

長期履修学生に認定された者は、一般の学生とは異なり、修学年数に関係なく、標準修業年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）分の授業料で修学することができます。

### 1. 申請資格

長期履修学生として申請することができる者は、社会人特別選抜に出願し合格した者（社会人合格者）で入学後も職業を有している者とする。

### 2. 申請の手続き

長期履修学生の申請を希望する者は、次の手順に従い手続きを行ってください。下記手続きをひとつでも怠ると審査の対象者とならないので注意すること。

#### (1) 出願前

志望指導教員に連絡を取る段階で、長期履修学生の適用を希望する旨申し出ること。

#### (2) 出願時

入学願書の長期履修学生適用希望欄にチェックを入れること。

#### (3) 入学手続時

長期履修学生を希望する者は、次の①②の書類を入学手続時に提出してください。

- ① 長期履修学生申請書（別紙様式1：入学手続書類送付時に送付予定（上記（1）、（2）の手続きを行った者にのみ送付））
- ② 在職証明書又は在職が確認できる書類
- ③ 提出期間は【10月入学】2024年9月6日（金）～9月12日（木）、【4月入学】2025年3月5日（水）～3月10日（月）（期間厳守）です。入学手続き書類と同封のうえ、理工学系事務部教務課理工学府係へ提出してください。

### 3. 可否の認定

申請書類に基づき審査のうえ、認定の可否を決定し、10月入学は10月中旬、4月入学は4月中旬に通知します。

### 4. 在学期間

長期履修学生の在学期間は、博士課程前期にあつては2年3か月以上4年まで、博士課程後期にあつては3年3か月以上6年までとなります。

なお、各年度の修了月は、3月のほかに6月、9月、12月となっていますので、長期履修学生申請書に修了予定年月を記入してください。

## 5. 授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を在学期間の年数で除した額となります。

(算出例1) 博士課程前期の長期履修学生申請者が在学期間3年と認定された場合  
$$535,800 \text{ 円} \times 2 \text{ 年} \div 3 \text{ 年} = 357,200 \text{ 円}$$
  
(授業料の年額) (標準修業年限) (認定された在学期間) (長期履修学生の授業料年額)

(算出例2) 博士課程後期の長期履修学生申請者が在学期間5年と認定された場合  
$$535,800 \text{ 円} \times 3 \text{ 年} \div 5 \text{ 年} = 321,480 \text{ 円}$$
  
(授業料の年額) (標準修業年限) (認定された在学期間) (長期履修学生の授業料年額)

## 6. 在学期間の短縮

長期履修学生は、認定された在学期間を短縮することができます。在学期間の短縮を希望する者は、当該学年を修了する2ヶ月前までに「長期履修学生在学期間短縮願」を提出し、承認を得なければなりません。

※詳細については必ず理工学系事務部教務課理工学府係に相談すること。

## 7. 在学期間の延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学期間の延長をすることができます。在学期間の延長を希望する者は、在学期間が満了する2ヶ月前までに「長期履修学生在学期間延長願」を提出し、承認を得なければなりません。ただし、在学期間の延長は1度限りです。

なお、在学期間は、博士課程前期4年、博士課程後期6年を超えることができません。

また、在学期間延長後の授業料は、標準修業年限(博士課程前期2年、博士課程後期3年)分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いた分を延長期間で新たに算出し、納付することになります。

## 8. その他

長期履修学生の申請にあたっては、入学願書出願前までに志望指導教員とよく相談してください。

## Ⅶ ChatGPTをはじめとする生成 AI の利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成 AI に対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いいたします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて各国、地域の方針・法令等も踏まえるようお願いいたします。

### 【注意事項】

生成 AI に入力した情報は、AI の学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成 AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

## Ⅷ アクセス案内

本学までの経路の詳細は本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

(<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>)

[注 1] 羽沢横浜国大駅から本学までの経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

[注 2] バスは、運行本数や乗車人数に限りがあるほか、渋滞や天候の影響を受けやすく、定刻通りに本学へ到着できないことがあります。そのため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

※は記入不要

受験番号※

令和 年 月 日

## 出願書類送付内訳書（出願資格認定審査）

### 横浜国立大学大学院理工学府博士課程前期

氏名 \_\_\_\_\_

ユニット \_\_\_\_\_

教育分野 \_\_\_\_\_

本内訳書は、出願時の提出書類に添付して下さい。同封した書類等については、下記のチェック欄に○を付けて下さい。

(チェック欄)

出願書類	書式	注意事項	一般		社会人
			出願資格 8	出願資格 5の2, 9,10	
出願資格認定申請書	9	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用			
出願資格認定申請書	11	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用			
出願資格認定申請書	12	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用			
出願資格認定用経歴調書	13	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用			
出願資格証明及び推薦書	14	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。 本学理工学部に在学者の場合は、「大学(学部)長名」の記入捺印は不要。※推薦者が厳封すること。			
卒業(見込)証明書 又は在学期間(見込)証明書	-	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したもの。			
出身大学(在籍大学)の成績証明書	-	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したもの。			
履修基準を示す書類	-	卒業までに履修すべき区分別単位数及び総単位、区分ごとに開講されている科目一覧等			
長形3号の返信用封筒	-	任意の封筒を使用。住所・氏名を記入し、354円切手を貼付。宛先は日本国内のみ。			
研究業績調書	16	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用			
研究(希望)計画書	17	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用			
受験許可書及び人物推薦書	-	【出願時に職務を有する者】任意の書式を使用。勤務先の所属長等が作成したもの			
研究又は業務に従事した証明書	-	【職務経験者】任意の書式を使用。			

※は記入不要

受験番号※

令和 年 月 日

## 出願書類送付内訳書

### 横浜国立大学大学院理工学府博士課程前期

氏名 \_\_\_\_\_

ユニット \_\_\_\_\_

教育分野 \_\_\_\_\_

教育プログラム \_\_\_\_\_

本内訳書は、出願時の提出書類に添付して下さい。同封した書類等については、下記のチェック欄に○を付けて下さい。

※出願資格認定審査を終えた者は、出願資格認定審査出願時に提出した書類の再提出を免除する。

出願書類	書式	注意事項	日本人			外国人留学生		
			一般		社会人	一般		社会人
			筆記 試験	特別 選抜		筆記 試験	特別 選抜	
入学願書	1-1	WEB出願システムより印刷して使用。						
写真 1枚	-	入学願書に貼付。						
卒業（見込）証明書	-	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したもの。						
学位取得証明書	-	取得学位が記載されたもの。卒業証書等の写しをもって代える場合は、理工学府係受付窓口にあらかじめ提示し原本確認が必要。出願資格（1）の者は不要。	/	/	/			
成績証明書	-	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したもの。						
在留資格に関する証明	-	日本在住の外国人は在留カードの写し（両面）。その他の外国人はパスポートの写し。	/	/	/			
外国人留学生履歴書	19-1	WEB出願システムより印刷して使用。出願資格（1）の者は不要。	/	/	/			
受入内諾書	19-2	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。希望指導教員の署名が必要。	/	/	/			
これまでの研究内容および研究計画書（先端化学ユニット）	21	（先端化学ユニット志願者のみ提出） 理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。	/	/	/			/
国費外国人留学生証明書		（日本政府（文部科学省）国費外国人留学生のみ提出） コピー不可。	/	/	/			/
出願資格証明書	15-1	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用（厳封）。本学工学部、理工学部卒業（見込）者の場合は、「大学（学部）長名」の記入捺印は不要。	/	/	/	/	/	/
推薦書	15-2	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。	/	/	/	/	/	/
志望理由書	18	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。	/	/	/	/	/	/
入学確約書	20	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。	/	/	/	/	/	/
出願資格認定書の写し	-	出願資格認定審査を受けた者のみ提出。 出願資格認定結果送付時に同封しているもの。	/	/	/	/	/	/
返信用封筒 1通	31	WEB出願システムより返信用封筒ラベル（書式31）を印刷して、角形2号（24cm×33.2cm）の封筒表面に貼付して作成。速達郵便料金の切手（400円）を貼付。宛先は日本国内のみ。	/	/	/	/	/	/

願書提出前に希望指導教員あるいは問い合わせ先担当教員と相談すること。

相談済み（○を付ける）



# CAMPUS MAP

横浜国立大学  
キャンパスマップ



## 事務局

- N1** ① 納品検収センター
- N2** ① 本部東棟 (1階 入試課)  
② 本部棟 (1階 授業料等収納窓口)  
③ 本部西棟  
④ 事務局車庫
- S1** ① 守衛所
- S5** ① 学生センター  
1階: 保健管理センター、ナビ・ポート  
2階: 学生支援課、教育企画課、グローバル推進課、なんでも相談室 (障がい学生支援室)  
3階: キャリア・サポールーム、ハラスメント相談室、先進実践学課係

## 学部・大学院等学生窓口

- N3** ④ 経営学部1号館  
[学生窓口] 1階 経営学務係 / 大学院学務係
- N4** ① 経済学部1号館  
[学生窓口] 1階 経済学務係
- N8** ④ 理工学系事務棟  
[学生窓口] 2階 理工学部教務係 / 理工学府係
- S3** ③ 教育学系事務棟  
[学生窓口] 2階 学務係 (学部) / 大学院係 (大学院)
- S5** ① 学生センター  
[学生窓口] 3階 先進実践学課係
- S6** ⑥ 工学基礎研究棟  
[学生窓口] 1階 都市科学部学務係 / 都市イノベーション学府係
- S7** ⑤ 環境情報1号棟  
[学生窓口] 2階 環境情報学府係

## 全学教育研究施設等

- N2** ③ ダイバーシティ戦略推進本部・男女共同参画部門  
③ 成長戦略教育研究センター
- N4** ① 地域実践教育研究センター
- N7** ② 全学共用棟B  
④ グリーン水素研究棟  
⑤ 全学共用棟A
- N8** ② 機器分析評価センター
- N9** ② 研究推進機構
- S1** ② 教育文化ホール  
③ 国際教育センター
- S5** ② 情報基盤センター別館、高大接続・全学教育推進センター、大学院教育強化推進センター  
③ リスク共生社会創造センター  
④ 情報基盤センター
- S6** ② 全学共用棟D  
④ 全学共用棟C
- S7** ④ 先端科学高等研究棟、リスク共生社会創造センター、先進化学エネルギー研究センター、量子情報研究センター、台風科学技術研究センター
- S8** ① RI 教育研究施設
- S9** ① 産学官連携研究施設

## 厚生施設

- N10** ④ Sガーデン (カフェテラス・コンビニエンスストア)  
⑤ 第2食堂、大学生協
- S1** ④ 第1食堂 (シェルスュ)  
⑤ 学生会館、大学生協本部

## 運動・課外活動施設

- S0** ① 体育サークル会館  
② 運動場管理棟
- S1** ⑥ 文化サークル共用施設  
⑦ 体育館・武道館  
⑧ 弓道場射場



- 学食・カフェ
- 売店 (コンビニ)
- ATM
- 学部・大学院学生窓口
- パソコン教室・サテライト教室
- 証明書自動発行機
- AED設置場所
- 駐輪場
- 駐車場
- バス停留所
- 学内バス停留所

## 附属図書館

- S3** ⑥ 中央図書館
- S7** ③ 理工学系研究図書館

## 管理施設

- N7** ① エネルギーセンター
- N9** ① 排水浄化センター

## 学部大学院等講義棟・研究棟他

- N3** ① 経営学研究棟  
② 国際社会科学部研究棟
- N4** ② 経済学部講義棟1号館  
③ 経済学部講義棟2号館  
④ 経済学部新研究棟  
⑤ 法学研究棟
- N5** ① 建築構造実験棟  
② 建築材料・環境実験棟  
③ 建築学棟
- N6** ① 電子情報工学2号棟

- N6** ② 電子情報工学棟  
③ 機械変電室  
④ 機械工学2号棟  
⑤ 機械工学・材料棟  
⑥ 材料工学実験棟
- N7** ③ 特別高圧実験棟  
⑥ 機械工場A棟  
⑦ 機械工場B棟  
⑧ 機械工学実験棟
- N8** ① 低温工学棟  
③ エネルギー工学棟  
⑤ 化工・安工棟  
⑥ 危険物屋内貯蔵所
- N10** ① 船舶海洋工学棟  
② 大型水槽実験棟  
③ 船舶海洋実験棟
- S2** ① 都市科学部講義棟  
② 教育学部講義棟7号館  
③ 教職大学院 / 教育学部附属教育デザインセンター
- S3** ① 教育学部講義棟6号館  
② 教育学部第1研究棟

- S3** ④ 教育学部第2研究棟  
⑤ 教育学部別棟
- S4** ① 教育学部5号館 (音楽棟)  
② 教育学部4号館 (美術棟)  
③ 教育学部第3研究棟
- S5** ③ 理学研究棟  
⑤ 理工学部講義棟A  
⑥ 工学基礎研究棟  
⑦ 理工学部講義棟A (107)  
⑧ 理工学部講義棟B  
⑨ 理工学部講義棟C
- S6** ① 環境情報4号棟  
③ 環境情報3号棟
- S7** ① 大学院工学研究棟  
② 生物・電子情報棟  
⑥ 化学棟
- S8** ② 土木構造実験棟  
③ 土木工学棟  
④ 水理実験棟
- S9** ① 総合研究棟 S棟・E棟  
② 総合研究棟 W棟

## 横浜国立大学大学院理工学府

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 5 号

TEL 045-339-3817 FAX 045-339-3820

E-mail [ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp](mailto:ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp)

<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>

理工学系事務部教務課理工学府係

[窓口取扱時間] 8:30~12:45, 13:45~17:00

土日・祝日、夏季休業期間（8月13日~8月19日）を除く。